

D. 農のある暮らし

この分野は、「緑」に関わる要素のうち、緑地としての農地、それを支える農業、市民のそれらに関連するあらゆる農のある暮らしに関するものを対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

【農地・農業】

のどかな田んぼが広がり、
土手にはみんなで育てた花が咲いている

【収穫物】

夕げの食卓には、日進の農地で収穫した野菜や
地元産のものが豊富にのっている

【農業活性化拠点】

市民が管理している農業公園でつくられた
野菜や花の物産市が毎週開かれている



■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

No.	指標名	現状値 [H. 14]		短期目標 [H. 20]	長期目標 [H. 35]
D 1	農地面積	539	ha [H. 13]	511 以上を維持	452 以上を維持
D 2	休耕田・放棄水田の面積	82	ha	62	0
D 3	市民菜園区画数	431	区画	750	3000

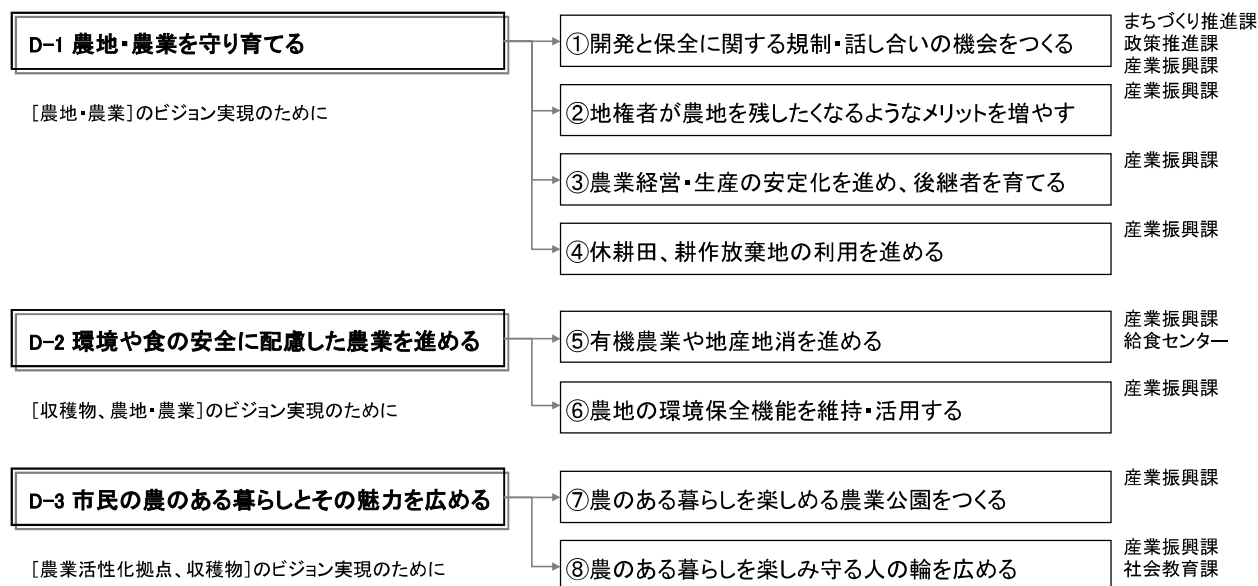
[検討・把握する環境指標] 農のある暮らし実施者数、米の自給率、エコ農業宣言者数、農家戸数

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしてこう！



環境まちづくりプログラム

■ 施策の体系 ■



D-1 農地・農業を守り育てる

農産物の生産だけでなく、洪水防止、水源かん養など多様な環境保全機能²²を持つ農地を守るためには、農業を続けることが大切です。農業従事者の高齢化や農業経営の悪化に対し、地域全体として農地・農業を守り育てる取組を進めます。

[施策メニュー]

- ① 都市計画法・農業振興法でのゾーニングの整理、緑地としての保全計画（地域まちづくり計画における数値目標）、農業特別地域の制定
- ② 税制面での優遇措置
- ③ 後継者の育成制度の確立、新規就農支援制度、★借地支援体制の確立と情報交換の支援、推奨作物栽培支援、★生産性向上のための技術・経営支援、★農家の農作業支援制度の検討、集積・機械化による効率化、特産品の開拓、☆低金利融資制度による経営の近代化・合理化、☆新たな組織形態による組織の活性化、☆農産物の高付加価値化、出荷体制の整備
- ④ 休耕田の学校での活用、★稲刈り・収穫祭など体験イベントの実施、★農業公園の整備、☆景観作物植付の奨励による耕作放棄地対策の実施

²² 農地の有する環境保全機能として、洪水防止、水源かん養、土壌浸食・崩壊防止、洪水緩和、有機廃棄物処理、気候緩和、保健休養・やすらぎ、大気浄化がある。

D-2 環境や食の安全に配慮した農業を進める

食の安全に対する取組の一つとして、農薬の使用を減らし、有機農業を進めます。また、農地の有する多様な環境保全機能を最大限発揮できるような農地利用に配慮し、朝市などの地産地消²³の取組を進めます。

[施策メニュー]

- ⑤ 有機農業を進めるための畦畔焼きの復活、地元産品の農協を通しての消費者へのアピール、学校給食への提供、農家と市民の契約制度、大手スーパーへの地元産野菜を置く働きかけ、特産品ハンドブックなどによる情報提供、有機農法と生ごみ堆肥化事業との連携、里山からの堆肥供給、日進市内での自給自足率の目標設定、☆米を中心とした日本型食生活の啓発
- ⑥ 景観へ貢献する奨励作物栽培支援、生産活動を伴った風景の育成と保全、四季の花咲く草地づくり、水田のダム効果の増進と市民へのPR、生態系豊かな水路・畦・のり面の整備、自然浄化作用の増進

D-3 市民の農のある暮らしとその魅力を広める

土や緑に親しみ、季節ごとの新鮮で安全な野菜づくりを楽しむなど農のある暮らしができる場・機会を増やし、農地・農業の魅力を広めていきます。そのために農業公園を整備していきます。

[施策メニュー]

- ⑦ ★農業レストランの開設、★特産市の開催、★養鶏・牛耕ができる場の設置、★貸し農園の奨励、★果樹園オーナー制、★子どもの体験農業の場づくり（みかんの木を植えて収穫して管理）、☆農作業体験の場の提供、☆ふれあい交流施設の整備
- ⑧ ★農業講座の開設、★農業公園におけるコミュニティの場・市民同士の意見交換の場の提供、漬物名人など発掘・紹介、★市民参加・ボランティアによる農業公園計画づくりと実践



▲農協の朝市の様子

²³ 地域でとれた産品を地域で消費することにより、輸送コストの削減などを図る取組のこと。

E. 緑のネットワーク

この分野は、「緑」に関わる要素のうち、市街地の緑を創出し、それらの緑の点を里山の緑から線で結びネットワーク化するための取組に関するものを対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

【道沿いの緑】

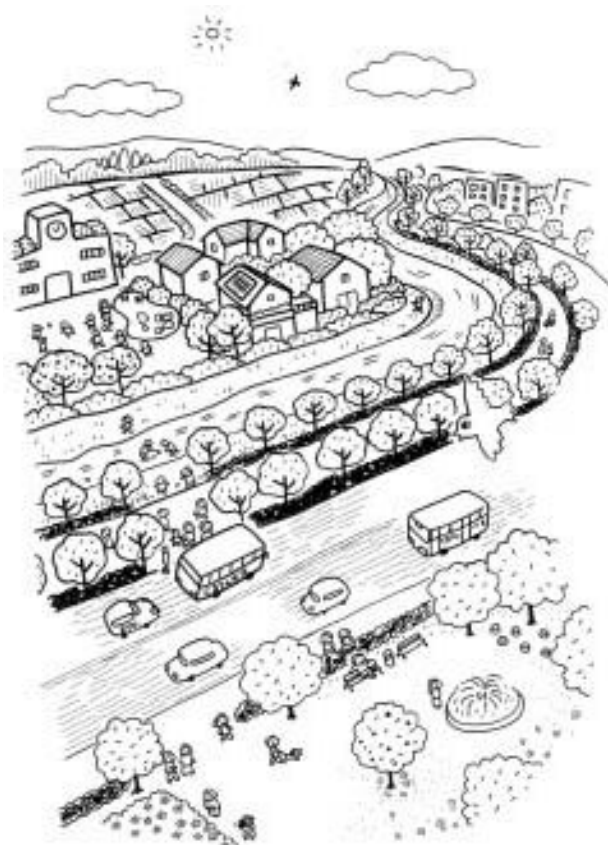
市街地には木陰のある道路が続いている

【川沿いの緑】

天白川・岩崎川など川沿いに並木が続いていて、
子ども達の声が響いている

【緑化】

緑を保全するために、市民・事業者・行政
みんなが協力参加している



■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

No.	指標名	現状値 [H. 14]		短期目標 [H. 20]	長期目標 [H. 35]
E 1	残したい樹木・樹林の指定数	—	箇所	50	100
E 2	市民に開放された樹林地箇所数	11	箇所	20	50

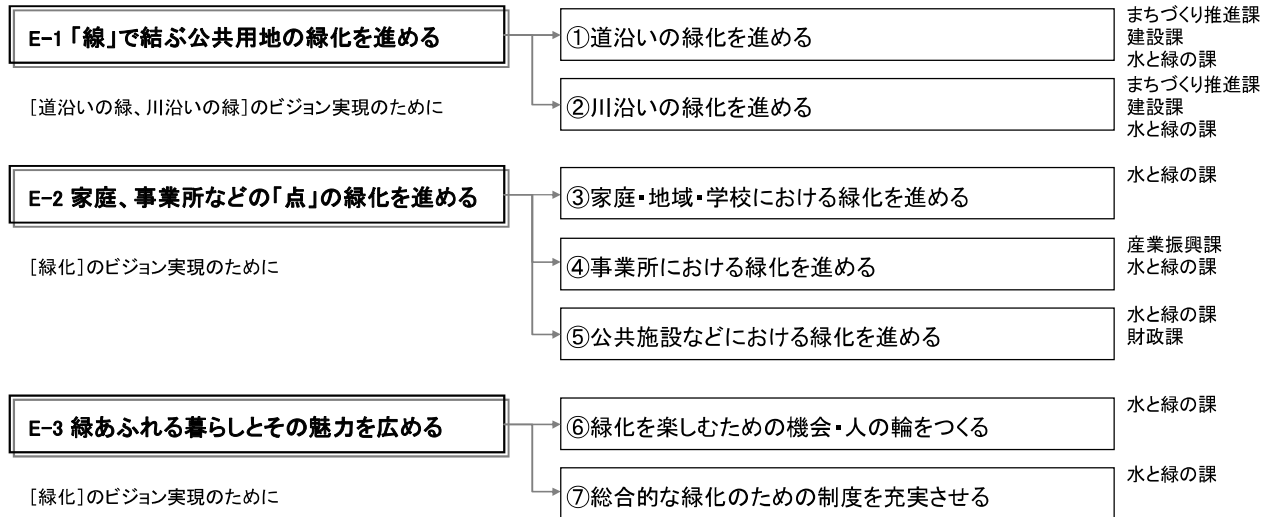
[検討・把握する環境指標] 航空写真から見た「緑」の割合、緑の回廊延長、敷地面積1,000㎡以上事業所の緑化率30%以上の割合

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしていこう！



環境まちづくりプログラム

■ 施策の体系 ■



E-1 「線」で結ぶ公共用地の緑化を進める

東部丘陵、点在する小規模な里山、あるいは家庭や事業所などの緑を「線」で結び、緑のネットワークをつくっていくために、川沿い、道路沿いの緑化を進めていきます。

[施策メニュー]

- ① 沿線住民の落葉・日照・害虫の理解協力要請、ライオンズクラブ・ロータリークラブなど事業者団体や市民からの寄付制度、植栽可能路線の調査、植栽実施計画の立案（植栽樹種、植栽地域、管理者（国・県）の調整、市民ボランティアによる管理委託（アダプトプログラム制度の導入）、愛称募集（○○並木）
- ② ★河川への植栽方法の検討、★天白川沿いの散策コースとポケットパークの整備



▲平成展望台から見る市中央部の風景



▲岩崎川の桜並木

E-2 家庭、事業所などの「点」の緑化を進める

緑のネットワークのポイントである家庭、事業所、公共施設などの敷地緑化を進めていきます。

【施策メニュー】

- ③ ライオンズクラブ・ロータリークラブなど事業者団体や市民からの寄付制度、地域緑化ボランティアの育成、市民の森づくり、緑の維持・管理をするための新しいビジネス創出
- ④ 事業所ごとのボランティアの育成、省エネ・環境に配慮した建築緑化の促進、★緑化に取り組む事業者への優遇措置（補助金制度等）、★工場緑化推進条例
- ⑤ 公共施設における緑化、社寺林の保全、各所でのビオトープ²⁴づくりの推進

E-3 緑あふれる暮らしとその魅力を広める

日進の風土にあった緑、壁面や屋上緑化などの緑化の知識を伝え、緑化を楽しむ人の輪を広げていきます。また、人が快適と感じる緑の量を考慮した地域の戦略的な緑化目標やその手段について検討していきます。

【施策メニュー】

- ⑥ ★お庭自慢コンテストの開催、緑に関する研修会等の開催、★市民・事業所別花壇、緑化コンクールの開催、花いっぱい運動の推進、★公園コンテストの開催、緑のまちづくり功労者表彰制度、大切にしたい木を守り育て増やす運動、★残したい樹木・樹林 100 選の実施
- ⑦ 緑の市民憲章の制定、生け垣条例、緑化基金の創設による財源の確保、★緑化条例の制定、緑の確保の数値目標設定、★緑のネットワーク化計画の策定



▲庭先の緑化の例

²⁴ ドイツ語の Bio(生物)と Top(場所)の合成語で、「野生生物が共存共生できる生態系をもった場所」という意味。最近では、生物が共生できる空間を保全、創出または復元した場所としてとらえられるようになっている。

F. 空と風と空気

この分野は、「まち」に関わる要素のうち、日々呼吸している空気の質、空気の流れである風、さらにまちの上に広がる空の環境を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

【車】

エコカーが当たり前になっている

【空気・風】

自然の営みから生まれる

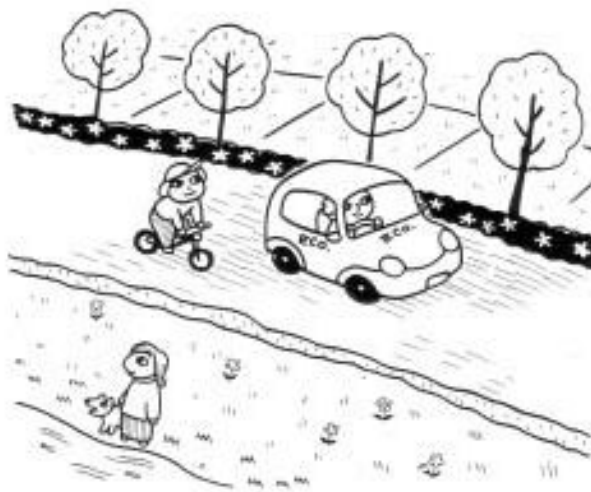
すがすがしい空気があり

夕方の涼しい風が感じられる

【夜空】

夜空にはたくさんの星が見え、

親子で星座が探せるようになる



■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

No.	指標名	現状値 [H. 14]		短期目標 [H. 20]	長期目標 [H. 35]
F 1	大気汚染に係る環境基準適合率	100	%	100	100
F 2	市民調査による宅地地区の 二酸化窒素濃度平均値	0.03	ppm	向上	0.02
F 3	市所有自動車のエコカー普及率 (特殊な車両を除く)	6.5	%	向上	100
F 4	エコドライブ宣言者数	—	人	1,000	4,000

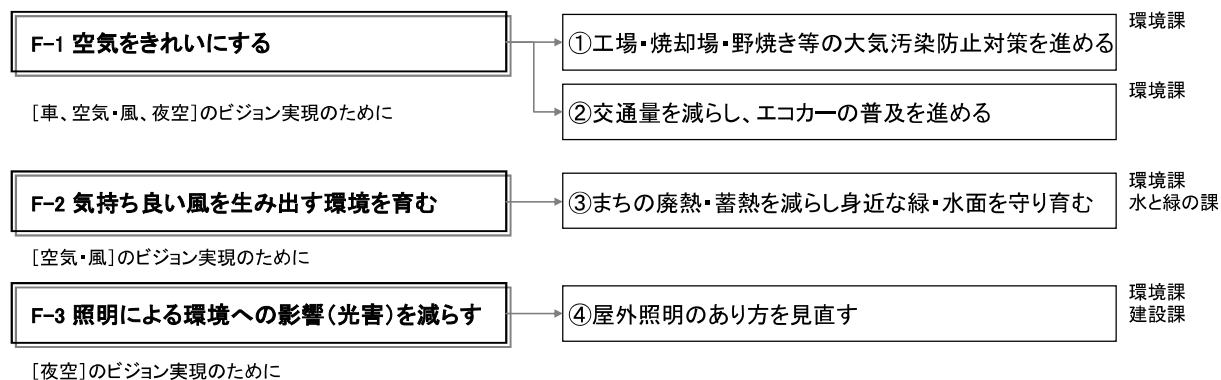
[検討・把握する環境指標] 市内エコカー普及率、主要道路の自動車交通量、自動車保有台数

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしてこう！



環境まちづくりプログラム

■ 施策の体系 ■



F-1 空気をきれいにする

空気をきれいにするために、大気汚染の原因である自動車排ガスや焼却場・野焼きなどの煙への対策を進めます。特に自動車排ガスは沿道の大気環境や地球温暖化へ影響を与えていることから、自動車交通量の削減とエコカー²⁵の普及を進めます。

[施策メニュー]

- ① 公害防止のための体制強化、事業者と地域との対話の推進、市民による環境監視モニター制度の導入
- ② 地球温暖化への警鐘、★エコカーの必要性のPR、★市民向けエコカー購入補助、★公用車のエコカー転換、★天然ガス車の導入、エコエネルギーステーションの誘致、★事業所におけるエコカー導入促進、★ノーカーデーの試験的实施



▲市所有の電気自動車



▲市民による道路環境調査風景

²⁵ 窒素酸化物、粒子状物質、二酸化炭素といった大気汚染物質や地球温暖化物質の排出が少ない、または全く排出しない車。電気自動車、メタノール自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車など。

F-2 気持ち良い風を生み出す環境を育む

近年、まちなかの廃熱や蓄熱²⁶の増加、緑や水面の自然的な土地利用の減少などによるヒートアイランド現象²⁷が名古屋都市圏で報告されています。この現象が日進市で進展しないように、緑、田んぼ、ため池などの保全、廃熱や蓄熱への対策を進めていきます。

[施策メニュー]

- ③ ヒートアイランド現象の市民向けPR、まちなかの緑の創出、田んぼ・ため池・川などの水辺の保全、四季を感じられる緑化、コンクリート建物の緑化

F-3 照明による環境への影響（光害²⁸）を減らす

地上だけでなく夜空や周りを照らす光は、星空を消し、歩行者や車を運転する人の目に眩しさを与え、エネルギーを浪費し、動植物への悪影響も報告されています。こうした光害を減らすために、適正な照明の整備を進めていきます。

[施策メニュー]

- ④ サーチライトへの規制づくり、ライトアップ・街路灯などのガイドライン作成、親子の星空観察会の実施



▲市の東部に広がる田園風景

²⁶ 廃熱はエアコン室外機、各種燃焼機関からの熱、蓄熱は日中太陽の熱でアスファルトやコンクリートにたまった熱を指します。

²⁷ 都市域において、人工物の増加、地表面のコンクリートやアスファルトによる被覆の増加、それに伴う自然的な土地の被覆の減少、さらに冷暖房など人工廃熱の増加により、地表面の熱収支バランスが変化し、都心域の気温が郊外に比べて高くなる現象。

²⁸ 夜、必要以上の照明による害のこと。特に、天体観測の妨げや野鳥の生態に悪影響を与える光をいう。